一般質問

6月8日、9日の本会議で、19人の議員が、市政全般について一般質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

総合的な視点から緑化施策の推進を

政新クラブ　伊藤　俊明　議員

議員　都市の緑は、健康で豊かな暮らしに欠かせない社会資本だ。近年、本市の緑被率は低下しており、市民1人当たりの公園面積も多摩地区市部平均や東京都平均を下回っている。緑あふれるまちづくりのため、新たな緑化施策を展開すべきだ。①屋上緑化や壁面緑化の普及策を伺う②緑化推進活動を支援する組織づくりが必要だ③学校での環境・緑化教育を推進せよ。

市長　①公共施設の屋上緑化を推進している。壁面緑化は有効性を検証し、支援策を検討する②緑のボランティア講座等を継続し、新たな人材を育成したい。

教育長　③環境教育の充実に向け、農業体験・自然体験活動等を実施している。

議員　地域に親しまれる公園づくりを進めるため、協働による新たな取り組みが必要だ。見解を伺う。

市長　市民の幅広い参加による公園づくりが基本だ。

議員　地域の特性を生かした景観の形成について、今後の方針を定めるべきだ。

市長　従来の取り組みを基礎に、景観行政を進める。

議員　都市の農地は、農産物の供給、緑化への貢献等、重要な役割がある。市内の農家は、より新鮮で安全な食品の供給に努めている。最近、農産物の残留農薬規制が強化され、対策が必要だ。食の安全と都市農業を守るため、農薬飛散防止対策等を積極的に展開せよ。

生活環境部調整担当部長　都市農業の役割は十分認識している。農薬飛散防止対策等の徹底に努めたい。

市民満足度の高い行政サービス提供を

政新クラブ　白鳥　孝　議員

議員　民間の経営理念などを自治体経営に適用する自治体が増えている。経営手法という点で、民間との協働をもっと積極的に考えるべきだ。所見を示せ。

市長　三鷹市基本構想の自治体経営の基本的な考え方で、事業者等との協働を基本とした効率的な行政の推進などを示している。

議員　民間の利点を吸収する視点がまだ進んでないと感じる。民間からの人材登用や民間企業への職員研修の再開は考えられないか。

市長　一般職員の民間からの人材登用は行っている。民間企業への派遣研修は予定してないが民間企業の経営手法など良いところは積極的に吸収していきたい。

議員　市では、経営品質評価に基礎自治体として先駆的に取り組んできた。行政経営品質評価の取り組み経過と、今後の取り組みについて所見を問う。

市長　市に提出されたアセスメント評価結果の指摘事項に取り組むべく、基本構想等に取り組み課題を盛り込んだ。今後も、品質ということを重視して行財政改革に取り組んでいきたい。

議員　市場化テストの法案が可決されるなど、公共サービスの民営化への流れが加速してきている。民間委託における課題や今後の取り組みについて聞く。

市長　サービスの継続と質の維持を図ることが必要である。今後も、民間委託や市場化テストの手法を活用し、よりよい行政サービスを提供するという自治体の経営を進めていきたい。

紫草の育成　豊かな人間性を育む教育を

政新クラブ　後藤　貴光　議員

議員　三鷹にはかつて紫草が自生していたが、現在は絶滅危ぐ種になっている。歴史的にも三鷹にゆかりのある紫草の育成を教育課程の中に取り入れれば、文化的な側面から三鷹の歴史的経緯を学ぶこともできるし三鷹の環境の変化について考える良い機会にもなり、自らが育てた紫根（紫草の根）で紫の染めものを行うことは、豊かな人間性を育むことも期待できる。また、紫草は発芽率が高くなく、紫根を育成するまでには複数年が必要であり、ある程度の忍耐力が求められるとともに、全員が発芽しないからこそ、友達同士で紫根を分かち合うといった必然性もでてくる。その意味でも教育的な価値、効果があると考えるがどうか。

教育長　小・中学校9年間を通した三鷹市の地域学習のカリキュラムの中に、紫草を指導の例示の1つとして取り入れていきたい。

議員　三鷹について聞かれた時、その素晴らしさを、誇りを持って話すことができるような教育も必要である。身近な見て触れる事のできる文化財、歴史、伝統を把握し、より一層、教育の中に取り込めないか。

教育長　地域の歴史や文化・伝統を学び、地域社会に対する誇りと愛情を育てていくことは大変重要なことである。各小・中学校において三鷹の歴史や伝統について学ぶという学習を一層推進していきたい。

〈その他の質問〉　行政が保有する備品等の有効活用について

人口減少社会におけるまちづくりを問う

政新クラブ　宍戸　治重　議員

議員　近年の人口減少の影響は、三鷹市にとっても避けられない問題だ。労働人口が減少し、税収不足による財政規模の縮小が想定される。行財政改革推進のため、一層の歳出削減、後年度負担の削減に取り組まなければならない。民間委託拡充の効果が人件費等の経費削減に反映されているか検証も必要だ。所見を問う。

市長　民間委託により、経費削減と行政サービスの質の向上を図っている。常に財政の健全化に努め、適切な自治体経営を行いたい。

議員　民間の福祉サービスが充実する中、特別養護老人ホーム等の支援・補助の見直しも必要ではないか。

健康福祉部長　効率的運営の要請や施設整備を行う。

議員　ごみの分別・減量を継続的に推進するため、支援策を強化すべきだ。

市長　資源物の集団回収への支援強化を検討したい。

議員　高齢者が安心して利用できる道路や公園づくりが求められている。都市基盤整備の取り組みを聞く。

市長　道路や公園のバリアフリー化に積極的・計画的に取り組んでいきたい。

議員　職住近接の視点で、女性や高齢者、退職者等の就労機会の増加につながる施策を検討できないか。

市長　市内や近隣市区での就労機会を提供するため、支援事業に取り組みたい。

議員　商業の活性化に向け既存の商店への支援や新たな起業支援を検討せよ。

生活環境部調整担当部長　三鷹商工会等と連携して積極的な支援を行っていく。

道路等のバリアフリー化が重要だ
…二重手すり等が設置された堀合地下道

「芸術文化のまち三鷹」を市の新たなブランドに

政新クラブ　田中　順子　議員

議員　市立「三鷹の森ジブリ美術館」の課題を聞く。①市は館を運営する財団に年間4千万円を上限に管理運営委託料を支払っている。美術館の成功を見ると、委託料の削減も検討できると考えるがどうか②オリジナルキャラクター「Ｐｏｋｉ（ポキ）」の使用はジブリ側の審査が厳しいなど制約が多い。まちの活性化にポキを活用できるよう努力してほしい③将来の改修に備え積立金など準備すべきだ④工夫を凝らし市民の来館を促す取り組みを実施せよ。

副市長　①財団という性格上、その利潤の部分は全力を挙げて展示等に投資している状況と考える②ポキがまちの中で愛されるような事業展開を心がけたい③財団との協議に基づき市の予算の範囲内で費用を支出するとしており、財団も積立金を用意している④市民招待日を設けたり地域との交流にも努力している。

議員　時代は豊かさの価値観が芸術文化を求めていく方向だ。本市は文化的資源が多く、芸術文化センター、ジブリ美術館等を中心とした芸術文化活動が盛んなまちだ。全国初の下水道完備、ＳＯＨＯ事業の早期実施など常に時代を先取りしてきた本市は、今こそ「芸術文化のまち三鷹」を掲げ、時代に一歩先駆けた芸術文化振興策を立案し、実行すべきだ。見解を伺う。

市長　㈶三鷹市芸術文化振興財団とのパートナーシップを尊重しながら芸術文化振興の道筋を示し、丁寧に検討を進めていきたい。

観光で元気な三鷹をめざせ

政新クラブ　榛澤　茂量　議員

議員　観光は地域活性化のもとである。辞書で三鷹を調べると、三鷹事件など暗いイメージが掲載されている。郷土の特筆すべき歴史であり、三鷹市の名前にもなった御鷹場などを前面に出し、三鷹を明るく新しいイメージに変えながら先進事例を学び、観光のまちづくりを進めるべきだ。

市長　市民にとっては、住んでいる地域の再発見であり、来訪者にとっては、来て良かったと思えるような三鷹らしい観光としたい。

議員　三鷹は、自然や公園、公開施設など他の自治体に負けない素晴らしい観光資源に恵まれている。魅力にあふれ訪れてみたい三鷹に向けて、更なる観光資源の掘り起しを進めるべきだ。

市長　広く市民に呼びかけ新たな観光資源を発掘するとともに、既存の観光資源等の関係情報を収集し、三鷹の新しい魅力を発信できるようにしていきたい。

議員　これからの観光は、地域ぐるみで魅力を付けていくことが大切だ。まず、市民自身が楽しみ、それに誘われた市外からの観光需要を獲得して行く。そのためには、三鷹全体で「観光のまちづくり」を進めようという総意、考え方が必要となる。遊び学び食べ帰りにお土産などの買物を楽しんでいただけるなどの観光需要を受け止められる商業振興を進めるべきだ。

市長　関係住民を中心とし